常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用 1、210
編集部 1、269

産婦人科 入室完備
齋藤医院
平市南町 電九〇二

具体化した"三市競輪"
平市は 四市合めて認める
模範的な運営

内郷、磐城、勿来三市合同組織の競輪事業は十日の平市臨時市議会で四市への貸与を正式に決議したので急速に具体化の運びとなつた。このため各市では自治庁など関係当局に施行権の申請を早急に提出することになつておりこの競輪によつて赤字財政にあえぐ各市は一回開催ごとに約三百五十万円の純益が転がり込んでくるので大きな財源の一つとなつてくる。しかし問題となるのは三市がどのような態度をもつて平競輪に割込むか、その調整をどうつけるかなどが残されており、正式開催までには数カ月かかるものとみられる。

平市競輪事業の運営をみると全国的にも最少の経費で最高の利益をあげているという模範的なところで、その成果は二十六年度に於て四百七十五万円であつたもので漸次増加を示して二十七度は千三百五十万円、二十八年度は三千二百四十万円、二十九年二千十二万八千円、三十年度二千八百万円、三十一年度五千二百五十万円という天文学的数字の黒字になつており借入金返済に当てた分をのぞき一般会計には一億千二百万円も繰入れている。

問題は平との調整
使用料 運営面など

平市競輪場は去る二十六年二月発足以来、初年度の赤字を除いては年毎に増益の一途をたどり、現在では全国百二十余の競輪場での利益が一番であり、市の黒字財政に寄与している。この黒字財政の基盤となつている平競輪借用のトツプを切つたのは内郷市であるが、これは常磐炭砿が打ち出した企業合理化で赤字財政を余儀なくされる運命になつたことから競輪収益によつて財政難を切り抜けようと去る二月中旬に平市に対し借用願を出した。

これに対して再建整備団体の指定を受けている勿来市、自主再建団体の磐城市も借用をほのめかし三市共同で競輪を運営しようという動きになつたものである。その後三市では常磐市にも誘いかけて四市の組合組織で借りようと持ちかけたが、常磐市の場合は現在黒字財政状態で、市議会でもトバク的性格の事業には反対であるとの意見が強く態度を明確にしていない。

そこで各市が対内的な立場から平市に競輪場の借用願いを出したので、平市当局では十日臨時市議会を招集して問題を協議、自転車競技法の競輪は「市の独占事業ではなく、益金は貧困市町村財政の均分をはかるのが目的である」とうたつてあるので平市としては他市への借用を承認したので、三市共同競輪の出現は可能となつてきた。

また三市では自治庁から個々に競輪施行市の認可を得て事務組合を結成して運営することになつている。ここで問題となつてくるのは従業員の配置、郡山、会津若松、福島、平の場外売場の設備、それに開催回数と使用料である。この回数は平市の場合、三十二年度に於いては年六回の割合に対して限度外申請を行つて、年十一回開催の計画をたてているが、一市が単独で借りる場合は最高二回で、その場合手数料(名義代)として売上げの五分乃至六分とみられるので一回開催毎の利益は三百万円前後とみられ、また四市の場合は最高六回借りられることになつている。

六往復に増車を
常磐 勿来で陳情
石川線の国鉄バス

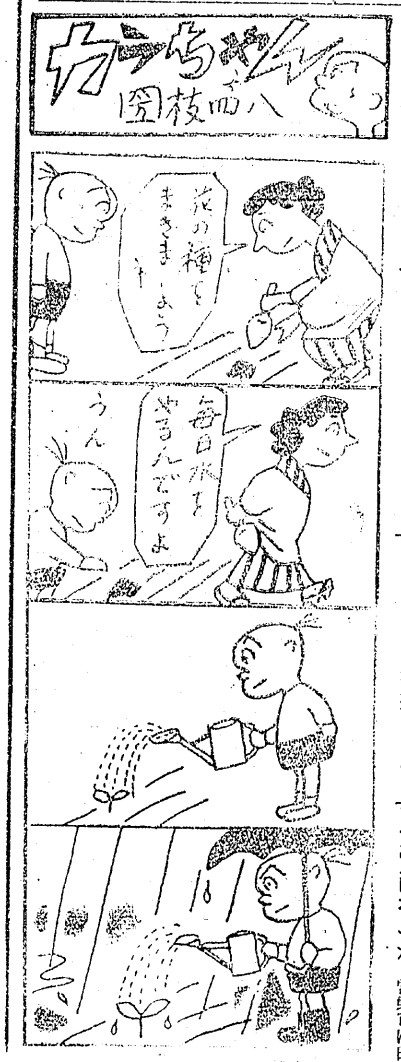
湯本から石川を結ぶ国鉄バスを運動していた常磐市では総合開発が軌道にのり将来は大工業都市の建設さらに石川から湯本間国道の改修が大半終つたのを機に十三日運輸省、国鉄本社などに荒川運輸町長、蛭田議長らが上京、同路線の早朝運行を陳情する。また勿来市でも現在走つている植田から石川間二往復を六往復に増発するよう陳情する。

現在国鉄バスが走つている植田から石川間はさる昭和十九年石川から湯本間の連絡を目的として常磐市をはじめ沿線町村が数年に亘つて熱心な運動をしてきたが、いろいろの事情で現在の石川から植田間に変更したためその後再三に亘る陳情を続けてきたが遂に実現しなかつた。しかし常磐と遠野を結ぶバスはいまでも石川から白河など中通りと遠野をつなぐ唯一の交通機関であるばかりでなく常磐市は町村合併と同時に常磐地方の総合開発に伴ない炭田の中心として経済、観光に発展の様相を見せている。

一方遠野町は総合開発工用水の資源地元町であり人的物的にもまた日常生活はいうまでもなく政治、経済、観光とすべて直結される条件を備えさらに平、磐城、内郷、勿来と日常生活また沿線住民の通学の往来が激しくなるのに従い、現在運行中の民間バスだけでは足らない。このため住民の要望と利用者の不便不利益の解消をはかるのと併せて湯本から石川間の道路整備を大半改良されたのでこのさい強力に推進することになつたもの。

また一方勿来市でも遠野―石川はさる二十九年から運行されているが勿来市の工業発達に伴い呉羽化成、同化学、共同火力発電所、さらに鮫川工業用水など多くの大工場を抱え、とくに漁港、海産物、日本水素などの工業都市にある磐城市と隣接する勿来市と直結する遠野町は沿線に多くの炭砿が企業されており沿線住民の交通もひんぱんになるに従い現在運行している二本を六往復にしようとするもの。

なおバスの早期運行に上京する、荒川町長らは幕本財産の造成をはかるため公有林五百十町の払下げまた合併されても上遠野局、入遠野局と分れている電話加入区域の会併も併せて関係当局に陳情する。



共犯横田捕まる
密輸時計事件五人目

密輸時計事件を追究中の磐城署は九日午後一時、とみられる東京都新宿区市ケ谷台町株式会社旭時計店社長横田熙二(三四)を関税法違反の疑いで捕え、隠していた三十余個の密輸時計を押収すると共に、同夜身柄を磐城署に移し、横浜税関監視部から応援にかけつけた後藤事務官と共同で調べている。

同署の調べによると横田は去る四月中東京都内の中国人から買つたエニカ、南京虫、ブロードウエーなど密輸時計一千個のうち五百余個をさきに磐城署に逮捕された東京都太田区池上町の時計ブローカー中根常三(四さ)ら三人に一個から千円宛もうけて五千円から七千円で売りつけていた疑い。

なお横田は密輸時計を売つて警視庁に三回も捕えられたことのある常習者であり、本籍が田村郡田村町谷田川であることから本県内の時計ブローカーにも顔が広く、中根らを紹介して県内の時計店にも相当の密輸時計を売らせていたといわれる。横浜税関後藤事務官の話によると、この密輸時計は香港から流れて来たらしく廿個一包で他県内に流れ込んでいるものと同じ種類だという、磐城署に捕つた密輸時計の容疑者はこれで五人となつたわけだが、更に事件が拡大すれば警視庁に移して追究するといつている。

大谷石 井上 平塗66
桜の苗木など囲く

平市農務課では緑の羽根募金運動で集まつたうち八万円で埼玉県足立郡安行苗木会社から吉野桜など八百本を取り寄せた。この苗木は吉野桜六百本、プラタナス六十本イチヨウ四十本、ヒマラヤシーダ一百本で市内の各学校をはじめ新川、古河堤防三十米グリーンベルトなどに街路樹として植樹することになつた

四倉高の修学旅行

四倉高校(校長太田長夫氏)は同校三年生百六十名らが、十二日―十七日まで五泊六日の修学旅行を行うが、日程とコースは次の通りである。

◇十二日(一日目)午前零時五十六分発で四倉を出発―上野―東京―羽田―横浜―熱海―沼津―富士山―静岡―浜松―名古屋―宇治山田午後六時到着一泊。◇十三日(二日目)午前七時旅館を出発―伊勢―奈良―二見浦―奈良大仏殿午後六時到着一泊◇十四日(三日目)奈良午前八時出発―法隆寺―宇治平等院―京都午後四時着山茂登一泊。◇十五日(四日目)京都午前七時出発―阿弥陀堂―比叡山―浜大津―清水寺午後六時着山茂登一泊。◇十六日(五日目)京都午前八時出発―大阪市内貸切バスで見学―東京都内に午後九時着一泊。◇十七日(六日目)東京午前六時出発―上野―四倉着午後四時三十二分で帰校することになつている。

青少年の補導協議

青少年の不良化防止と環境条件を明るくするため石城地方青少年問題連絡協議会では十七日午後一時から石城財務事務所に各青少年補導連盟、県教委石城出張所、平少年鑑別所、各福祉事務所、各警察署、保健所、石城小、中、高校長会、防犯協会、保護司協議会、校外補導連盟など関係者ら約四十団体を招き連絡協議会を開き活発な意見の交換、対策など協議する。なお当日に各団体から次の対策について発表される。

「地域組織の活動について」好間村青少年連盟補導会「校外生活指導に各部落の人に積極的な協力を得るには如何にしたらよいか」県教委石城出張所「問題少年の早期発見について」平少年鑑別所「青少年補導機関の設置について」平警察署「地域組織の確立について」石城福祉事務所「精神衛生相談室の設置について」平保健所「社会生活のなかに青少年の自覚を昂揚していくには」平児童相談所

内郷で防犯団体を組織

内郷市料理店、飲食店、防犯組合が協力会様式組織の防犯団体としてこのほど結成された。役員は次の通り。

▽組合長 根本林平、▽副組合長 酒井盛治▽理事 飯塚鶴吉、▽同 近藤カツ、▽同 小松寿、▽同 高橋喜一。

だれも彼も愛しつづける 藤越
自然の美しさのように、五月の季節のように藤越の食堂はいつも明るくさわやかに皆さまがたのしくお食事できることを念願としております。
○あんみつ 三〇円
○ソフトクリーム 四〇円
○カレーライス 五〇円
日曜サービス豚並肉百匁 百円
小名浜 平市

季節の味覚 お美味しい 冷しそばを 始めました
大衆食堂 満腹
平市三田小路 電二二〇

ポータブルラジオは古山電氣 平2

御婚礼家具
▽最新型洋服タンス ベビータンス
▽冷蔵庫・テーブル・本箱・椅子
各種豊富陳列致して御座居ます
家具のデパート 伊東家具店
自家製造店
平市新川町 電四六四
工場 平市大町 二九

粋でシツクな……
スタンドバー田園が……
皆様の御出を心から……
お待ちいたしております……
純スタンドバー 田園
平市三田小路

平市消防吏員募集

●試験日時 五月二十日(月)午前九時●試験場所 平市消防署●受験資格(A)高校卒若くはこれと同等以上の学力を有するもので年令十九才以上二十五才未満の男子で志操堅実身体強健のもの(B)平市内に居住し得る者●試験課目 国語 作文 算数 物象 社会常識●受験手続 志願書 写真 履歴書 身体検査書を五月十九日まで消防署に提出の事 志願書に写真添付の事●採用人員 若干名●給与 初与初任給六、六〇〇円(但し見習期間は五、五〇〇円)

平消防本部

11日 ➡ 15日
☆九十九里の子供達
☆東京だより
☆楽しい自転車旅行
スポーツニユース
メーデーニユース
平文化ニュース

笛の詩

絵と文　谷田部風太郎

たそがれの章

18

翌日も、空は晴れて、白い海鳥が、荒らけずりの岩々にたわむれて居た。

青いオホーツクのささ波が岩に砕け、真珠のように散つた。

三人は、オロツコ岩の下に立つて、もうすぐ白い船の来るはずのウトロ湾の沖を眺めて居た。

一人一人が、全く別々の事を考えながら……。

あつた昨日の事を、何度も、何度も思い返えして見見るのである。

「それでは、あなたは、先生を本当に愛してはいらつしやらないんですの？。」

「いいえ。愛して居ます。精一杯に…。」

「じやあ、なぜそんな事が云えるのでしよう。私と先生の幸福をお祈りするなんて…なぜそんなことが……。」

「私には、私の心があるんですの。それは、あなたには解つて

美佐子は、自分のこれからのことを考えていた。永い間の楽しかつた希望は、ふつつりと消えてしまつて、残つたものは、孤独の自分の姿なのだ。その自分を、これから、どう生かして行こうか。

啓介と栄子の不幸を、自分のことの様に悲しめる人。

（そんな人になつて、私も絵をやろう。唯絵に生き、絵を恋し、絵を愛して……。）

白い海鳥のなきごえが聞えるくつたくのない涼しい海であつた。

栄子は、自分の前に立つて居る美佐子の心を、どうしても、理解することが出来ない。話していただかない方が良い。あなたは唯、お兄さまを愛して下されば良い。愛してあげて下さい。あなたの将来に、決して失望なぞないように……。」

栄子は、どうしても解からない。

（美佐子さんて人は、愛情つて云うものをあんなに簡単に捨てられる人なのかしら。）

（きつと、お心の中は淋しいんだわ。淋しい気時で、むりにもお帰えりになる。）

啓介は、昨夜おそくに出来上つた、あの絵の事で頭が一杯だつた。（良い。良い絵だ）

啓介の顔には、云いようのない喜びが、あふれ出ていた。

それは、今までに一度として感じたことのない、さわやかな気持だつた。

（俺は、とうく、すばらしい絵を描く事が出来た。）

あらゆる現実の苦悩を忘れ、唯、昨夜出来た絵のもう想の中に酔つている……。

それは、人間を忘れた。絵の魂に生きて居る、不思議な啓介の姿であつた。

黒々と、土まんじゆうの様にもり上つたオロツコ岩の中腹に一寸した茂みを作つて居るナラの林の、黄色く変色した枯葉の一葉が、独りでに枝からはなれて、三人の立つて居る砂浜へ舞い落ちて来た。

ひやりと、さめかけた秋風が三つの頬をなでた。それぞくの人間性は、同時に、ふと我に返えつて、お互に顔を見合はせた。

（つづく）

一部黒字になる

再建進む大野農協組

去る二十九年五月約三百五十万円にのぼる使途不明の金額を出し、センセーションを起し話題となつて成行に注目されていた、四倉町大野農協はその後に於いて再建途上にあり昨年（三十一年）五月十五日に整備副新組合の指定をうけて以来、整備資金の流入で一カ年余り停止していた貯金の一部払戻を行つて漸次整備計画に基き事業の運営と再建につとめていたが、この程第九回通常総会を開き三十一年度事業報告を行つた結果、昨年は信用、購買、販売、加工、共済の各事業ともに良い成績を収め約百二十五万円の黒字を出したことが判明した。そこで昨年の各事業での動きを聞いて見た。

▽信用事業、貯金の年度末残高は一千二百七十二万五千円に対し前年に比べ十三万三千円の増加、預金の年度末残高は八百七十六万四千円で前年に比べ七百九十四万円の増加、借入金は年度末残高は七百五十六万四千円で前年に比べ二百三十二万七千円の増加、貸付金に対しては年度末残高は七百五十四万円で前年に比べ二百二万九千円の減少を出したがいづれも増加を出した。

▽購買事業、三十一年度総売上額は七百四十万一千円で前年に比べ百六万三千円の増加、手数料は四十四万一千円で前年に比べ十万八千円の増加。

▽販売事業、昨年度取扱数量（入庫置）は八千四百四十四俵で冷害のため前年に比べて一千六十九俵の減少を見たが倉庫を整備して長期保管に力を入れ、保管料は千九万五千円で昨年に比べて二万六千円の増収を得た。

▽加工事業、加工料金は六十二万八千円で昨年に比べ（一万三千円の増収。▽共済事業、三十一年度目標は二百万円であつたが、趣旨の不徹底により立ち上り悪く、百三十万円の加入であつたが、三十二年度には全戸数加入を目ざして挽回するなど本年度（三十二年）に於いては生産の増強を解り消費経済の合理化を促進し営農改善を積極的に推進して経済的立地条件に基いて再建整備と農家経済の確立を計るなど今迄の赤字挽回に力を入れている。

平市の農業経営の実態

総数三、六七七戸

耕作面積は二、八〇〇町歩

農家の経営実態を調査していた平市統計係ではこのほどそれを集計した。この調査は三十一年における耕地面積、実収高、牛、馬などの家畜など数項目を対象にして行つたものであるが、農家の実態を知るために貴重な資料となつている。

専業は半数足らず

平市の農家数は三千六百七十七戸で専業農家が千百三十四戸、兼業農家が二千三百四十三戸、人口は二万四千六百二十二名（男一万二千八十名、女一万二千五百四十二名）となつている。この兼業農家を種別的にみると林、狩猟、漁、水産業殖業四十五戸、鉱、建、業製造百三十戸、卸売、小売、金融保険、不動産、運輸業二百六十二戸、賃労働者千四十戸、職員勤務七百六十戸となつている。

耕地　これら農家の耕地面積をみると総面積は二千八百八十六町五反二十三歩で田を二千五十四町四反四畝十三歩ともつとも多く次いで畑の七百七十九町三反七畝二十八歩、果樹園四十二町三反三畝十一歩、桑園九町六反三畝十六歩、その他の樹園地が七反一畝十五歩でこの耕地から収穫されている米は水稲四万三千八百二十七石二斗、陸稲八十一石九斗四升である。

収穫物　をみると大麦が八千四百九十九石六斗四升、小麦三千九百四十四石八斗七升、はだか麦三百八十一石七斗、芋類は馬鈴薯三十五万一千五百十九貫、甘藷三十万四千二百六十三貫、里芋九万三千六百六十三貫、豆類ではえんどう五千百六十貫、大豆千四百二十三石四斗二升あずき百六十石九斗五升

野菜類　をみると大根三十四万九千四百三十八貫、キヤベツ十一万四千五百九貫、ほうれん草九万五千四百四十一貫、たまねぎ十二万八千六百九十一貫かぶ一万六千八百六十二貫、ごぼう五千二百五十六貫、人参十万三千三百六十六貫、ねぎ二十五万七千三十一貫、その他の菜類八万一千八百七十六貫。

果菜類　ではなす十九万二千八十五貫、トマト五万八千二百八十五貫、キウリ百四十四万二千四百四十九貫、かぼちや七万七十六貫、すいか三千二百三十二貫、もも三万一千九十四貫、すもも六十貫、うめ四千二百四十四貫。

その他　のものではなたね千百一石三斗七升、ごま三石六斗八升、たばこ一万五百六十三貫、こんにやく五千八十五貫となつている。

家畜　これと並んで農家において重要な役割をしている家畜をみると乳用牛百七十四頭、役肉用九百三十一頭、馬九百三十六頭豚七百九十三頭、めん羊五百十一頭、山羊八十九、にわとり三万七千八百六羽、兎百十二羽というように飼育されている。

四倉小写生会　四倉小校では二十二日午前九時から同町内の新緑の風景など美的の表現を高めるため全校生らの写生会を行うが、各学年別の写生場所は次の通りである。▽一学年、学校内▽二学年、海岸（松原）▽三学年、四倉高校前田園▽四学年、セメント工場附近▽五学年、築港附近▽六学年、町外の風景。

雨の日も晴れの日も
三和のレインコートをどうぞ！
◎バーバリレインコート　2700円より
其の他各種新型豊富に入荷致して居ります
オーバーブラウス　600円より
ワンピース　2,200円より
スカート　1,100円より
Yシャツ　600円より
◇其の他フアンデーション各種取揃えました是非御一覧下さい
三和婦人服
平銀座　TEL 2210

割烹　開花　四時～一三九九

家具のあるが　平銀座店電三三　平四丁目店

節句祝に……
名入風呂敷
平五馬目染工場　電五五八

初夏の紳士○婦人○既製服と紳士服お誂は当店へ
背広上下○上衣○替ズボン○背広生地○バーバリ
オーブンシャツ○婦人セーター○婦人バーバリ○ブラウス○スーツ○子供服
勉強と評判の店一丁目と平和通りの店春物一掃特売中○○○○○
株式会社　鈴木勘氏商店
TEL 1638　732

銘菓六段最中
平名物　世界的名曲「六段」の作曲家八橋検校は平市の生れ名曲「六段」に因み
六段羊羹
六段本舗　平駅前　平凡　電509

きそばと寿司　宴会場の酒喜庵　デンワ一七一

蒲焼　柳川　食道楽　江戸川
▽出前は迅速にお届けいたしております
紅小路店電一四五六　才槌小路店電一〇二一

不動産売買・仲介評価貸家斡旋
福島県知事公認取引所
平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際　色川材木店内　電三六一番

夏の味覚　生ビール
大　二三〇円
中　一二〇円
小　八〇円
夜間営業致して居ります
大衆食堂　さかえ　平駅前　電九八八

内科　外科　金成医院　平市鯰田町　電八二六

ますます評判の平名物　若ひな丸唐あげ（一羽一六〇円より）
美容食　一色ソフトクリーム
旨い。安い。量が多い。と三拍子揃ったこの評判を是非一度御賦食下さい
出前迅速
◎女店員調理見習募集
お食事のデパート　不二屋　平市中央通り電八六〇・一七五〇

盛り上る處分反對斗爭

命令蹴り職場大會強行

平驛 貨車七本が運休

首切り反対を叫ぶ国鉄水戸地方本部平支部のストはきよう十一日午前八時三十分から平駅六番線ホーム滞留客車内に組合員約九十名が集つて職場大会を開き本部から加藤前地方本部委員長、川澄執行委員長らの指導で首切り反対を決議した。駅側では午前九時退却命令を出したが組合側では大会を続行同十一時二十七分散会した、このため貨物列車七本が運休したほか客車三本が約五分から六分が遅延した、また首切りを反対する石城地区の各労組では「不当処分反対石城地区共斗会議」を結成、共斗を打ち出したがこの職場大会には西山常磐労働組合長、村上日本水素、菅波古河好間組合長など約四十名が参加して気勢を上げ、さらに明十二日も同規模のストを行う一方、宣伝カーを繰り出して国民に呼びかけることになつた、なお本格的な共斗は三十日総評本部で開かれる戦術会議によつてストを行うこととなつているが、さきに行つた春季斗争第三波と同じように国鉄、電信、電話はかなりの混乱が予想されている。

下旬に一時低温

野菜や苗代に注意

四倉地区農改指導所（所長草野昇氏）では〃今後の天候予報に注意しましよう〃とこの程、五月の農業改良速報を出した。これによると五月上旬は一時低温による晩霜があつたが、梅雨のはしりに入り五月下旬に一時強い低温が現れるかも知れないと、今後に於ける防霜対策をたてた。

降霜の恐れある場合は「トマト」「キウリ」馬鈴薯に対しては「コモ」「モミガラ」紙など覆いをする。苗代は水を深目にする。果樹園は火熱加温をとる。苗代の管理は失敗のないように播種後五日から七日目頃ウスプルン五〇〇倍液を坪当五合位、浅水として消毒する。尚四日から五日後二回目を実施する。苗ぐされが発生した場合は二、三回連続に消毒を実施する。朝夕の水のかけ引きに注意し、夜干しはせずに日中の芽干しを行うなど町内の農家に警告を出している。

衛生思想を向上

明るい環境を作ろう

平市衛生課では地域社会の組織活動を通じて衛生思想の向上を図つて害虫を效果的に駆除して明るい生活環境を造ろうと春の環境衛生実施計画を次の通り決めた。

◆実施方針＝▽春季大掃除の実施▽地区衛生班の育成強化▽優良地区、指導者の表彰▽公共の場所及び空地の清掃▽夏期衛生班の作業開始

◆実施要項＝▽蚊、ハエの発生源除去（便所の汲取口及び黒芥箱の周囲、畜舎の床の土をとり補殺するか焼却する、納屋物置畜舎の隅、石井戸、寺等の縁の下、家屋の周りの溝等の清掃、汚水の流通を良くする、不要な水溜りの除去）

◆環境衛生施設の改善整備指導＝▽便所汲取口の密閉及び便所周辺の改善指導▽風呂場及び流し口の排水施設の整備▽黒芥箱の修理改善、▽畜舎推肥場等周辺の清掃、消毒▽肥料溜の露整備◆観光行楽地等の清潔保持＝▽観光課と連絡をとり、清潔保持を図る▽公衆便所の清潔

◆啓蒙宣伝＝▽映画会及び衛生講話を実施する▽組織活動を活発にするため衛生班長と連絡を密にする。

玉山八茎線の開発進む

伸び行く日鉄鉱業は今四倉町にとつては重要な産業になつているため、町当局では出来る限りの協力をしているが、玉山から菖蒲一平間の道路が悪いため去る四月中旬から県の斡旋で林道改良工事として玉山藤屋旅館から日鉄に向つて延長三百九十六米、巾員六米を第一期工事として着手、この工事は県営矢対工事で総工費二百万円で施行しているが、一部の土地売買問題から地元（地主）らと交渉がうまくいかず、町当局では頭を悩ましていたが、この程土地売買が決まり近く完成する。

また、町当局では特別失対事業としてもつとも道路の悪い玉山鉱泉藤屋から十市神社前まで延長一千百七十米、巾員六米の道路改修工事を総工費四百万円で今月下旬ころ着手して今年一杯に完成の見込である。

横領額は50万圓

はとんど酒つぎ込む

勿来署は、公金横領の疑いで送検した勿来市錦中の元会計職員諸根菊雄（四〇）の横領内容について調べた結果、一昨年十月から本年二月までに四十回に亘り横領総額五十万七千八百六十二円で横領した金は全部酒代に回していたことが分つた。

一年半も使込みが分らなかつたのは扱つた金を銀行預金にしないで諸根が現金のまま保管していたためだつた。しかも監査員が費目ごとに違い、監査の仕方も帳簿だけ見て現金とつき合せないことが多かつた。PTA会費の監査で帳簿と現金を要求されたときは生徒費をやりくりして監査の眼をごまかしていた。使込んだ金はPTA会が一般から寄付を募つて埋合せることにした。

山田流そう曲 記念演奏会

あす公会堂日本間で

美彩会主催、山田流家元町田彩勢東京木ノ芳会後援の飯村彩幾箏曲教授三十周年記念「箏曲美彩会演奏会」は十二日午前十時から平市公会堂日本間で開かれる。当時の演奏曲目は次の五十五曲である。

◇新高砂◇さくら◇松上の鶴◇文福茶釜◇六段◇まりつき◇新年の雪◇八千代獅子◇雨の詩◇からかさ舞台（琴）◇さくらと小鳥◇夜の大工さん◇ざくら◇たけのこ◇からかさ舞台（舞踊）◇桜狩◇千鳥◇山の上◇らくがき◇夕顔◇近江八景◇花火◇春の曲◇ひぐらし◇ほたる◇みだれ◇藤の花◇飛鳥◇花かげ◇八段◇流れゆく花◇雪と雲◇秋の言葉◇荒城の月◇茶の湯音頭（琴）◇岡安ちん◇三つの景色◇秋の七草◇雁とつばめ◇夕やけこやけ◇磯千鳥◇京の四季

アユ二万尾放流

夏井川漁協組で

夏井川漁業協同組合では七月一日のアユ解禁を前にして去月二十日から夏井川の小アユを地曳、四ツ手網ですくい上げ愛谷堰上流に放流しているが、現在すでに四寸から五寸のアユ約二万尾が放流されているが、更に七月まで引続いて十万尾、他地からの十万尾のアユを放流することになつている。本年のアユは生育もよいうえ昨年の三万五千尾よりはるかに上廻つているので、大公望たちは解禁にそなえて準備に大章となつている。

佃町に農業倉庫建設

石城地区開拓農役員会が九日開かれ、農業倉庫敷地問題、役員全員個人保証による借入金の転貸、組合統合準備及婦人会結成に伴う事務職員の増員などについて協議し農業倉庫は工費六十万円で近く平市佃町に建設されることになつた

社会事業功労者表彰

第十一回県社会事業大会は十一、二の両日常磐市湯本高校講堂に関係者約千名が出席して行われ、社会福祉事業施設、優良民生委員などの表彰が行われた。石城地方関係者は次の通り。

社会福祉事業功労者林武義（好間村）児童委員功労者若松かん（常磐市）優良民生、児童委員功労者吉田義久、志賀平保、小林忠男、片寄明男（以上平市）松本松哉、藤本周栄（小川町）佐藤正二（常磐市）遠藤信蝋（好間村）山内政衛（四倉町）優良私設社会福祉事業施設団体福島整肢療護園（平市）。

平自転車商協の新役員

平自転車商組合では八日午後一時から常磐市新つた旅館で総会を開き、役員改選を行つた。役員次の通り。

▽理事長 大高剛太郎、▽常任理事 門馬政敎、椎名誠、加藤武、▽理事 大原金治、川村武司、佐藤芳身、鈴木和三郎、鈴木芳四郎▽監事 草野幸造、会川貞夫。

浴客誘致に万全期す

磐城脱衣場組

磐城市小名浜海水浴脱衣場組合（組合長小野一氏）では、十日午前十時より同市辰巳町たけや事業所事務所に組合員七名が参集し海水浴脱衣場の設置や海水観光外来者の誘致問題等につき種々協議した結果、大貨易港として躍進途上にある磐城小名浜商港の一万トン岸壁建設に伴い本年度の海水浴場は例年よりも各関係者側の協力のもとに優大な脱衣場を設置すると共に、盛大な港まつりを実施し海水浴客並に観光外来客を満足させることにしたが、同組合では海水浴場は廃止することなく例年通り本年も同場所に於て海水浴が出来るので、多数の外来客を期望している。

ラジオ・洗濯機
日賦
石川電器店
平市才槌小路

皆様の憩いのところ
PEARL
ビールの王様
キリン生ビール
アイスクリーム
冷し支那そば
レストラン
パール
平市田町TEL1388

鯉のぼり・外幟り・内幟り
森下の武者人形
◎セット3000円より
武者人形に限り一割引
玩具のデパート
森下玩具店
平市一丁目 TEE602

1957

第一回市内有名洋裁学校生徒による
春のファッションショウ
☆会 場 平市公会堂本館
☆日 時 5月12日（日曜日）
午前10時 午後1時 午後4時
☆プログラム
第一部 ゆかたの部
第二部 洋装の部
第三部 特別ショウ
（東京花咲繊維提供）
特別出演 永山美代子バレエ研究所
主催 大黒屋
協賛 荒木洋裁学院 東北高等洋裁学院
鯨岡高等洋裁学院 磐城高等洋裁学院
三浦高等洋裁学院 千草和洋裁学院
平高等洋裁学院 （以上七校）

柳生武芸帳

武藝帳を追って

剣と戀の時代劇大作

解説＝週刊新潮に連載して絶讃を受け、今や全国の話題を独占する五味康祐原作「柳生武芸帳」を映画化した時代劇超特作である。

天下の動静を左右する柳生武芸帳をめぐって、風雲の剣げきと波瀾の恋を織りませた、波乱万丈の格調正しき時代劇大ロマンである。

色彩はアグファカラーが使用されるが、従来のイーストマンカラーに見られぬ水彩画的な味わいが、時代劇の醍醐味を一層盛り上げるものと早くも話題を呼んでいる。

出演者は三船敏郎、鶴田浩一、東西日本映画界トップスターの大河内伝二郎、小堀明男、久我美子、香川京子、岡田まり子の豪華顔合せに加え、東宝と専属契約を結んだ歌舞伎界の中村扇雀、岩井半四郎が揃って待望の第一回出演を実現する文字通り空前絶後の豪華版。

…◇スタッフ◇…

製作……田中友幸
原作……五味康祐
脚本……稲垣浩
〃……木村武
監督……稲垣浩
撮影……飯村正

…◇キャスト◇…

電の多三郎……三船敏郎
〃千四郎……鶴田浩二
夕姫……久我美子
於季……香川京子
り か……岡田まり子
柳生但馬守……大河内伝二郎

物語＝寛永十二年――。徳川幕府の礎もそろそろ固つて来たが、その運命を左右する大事を秘めた三巻の柳生武芸帳をめぐつて無気味なしゆん動が続いていた。武芸帳は、天下の大目付柳生家、京の薮大納言家、佐賀の鍋島家にそれぞれ一巻極秘に所蔵されていたが、折も折、鍋島家の一巻は、先年鍋島の手で取り潰された龍造寺家の遺児夕姫の手に帰したとあつて、柳生の一族は必死にその行方を追求していた。

両者の間隙を縫つて、陰流の兵法者山田浮月斉も武芸帳を奪おうと血眼になつている。浮月斉は門弟の多三郎、千四郎兄弟を呼び、多三郎は夕姫の行方をつきとめて、千四郎は柳生屋敷に忍びこんで、一巻づつの武芸帳を奪うことを命じた。

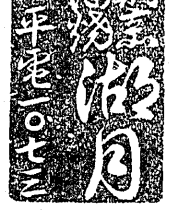
千四郎は江戸に上り、柳生屋敷の天井裏に忍び込んで、父、但馬守が友のり、又十郎、於季を集めて大事を語す言葉に耳を澄していたが、不覚にも発見されて又十郎の追跡を受けることとなつた。又十郎と烈しく白刃を交し合つた千四郎は屋根に逃れ、忍びの術で相手をあざむいて於季の部屋に逃げこんだ。ハツと驚く於季に対し千四郎は、そなた恋しさに忍んで思わぬ不覚を取つたと言葉巧みに話しかけ、動揺する女心につけ入つて案内された秘密の扉から、危く屋敷の外に逃れた。

多三郎は夕姫を始めとする龍造寺一族が、摂州有馬の谷に身を潜めているのをつきとめ、腕をさすりながら武芸帳を奪う機会を待ち続けていた。或る夜、夕姫が散歩に出たのを見届けた多三郎は近づいて夕姫を抱きあげ、山の湖水を小舟で対岸に渡ろうとした。多三郎を人質として武芸帳を奪おうと考えたのである。しかし小舟が対岸近くに漕ぎ寄つたとき、部落の方で火の手が上つた。

家臣の運命を憂慮する夕姫、その姿を見た多三郎は船を漕ぎもどして姫を元の岸におろした「そなたをおとりにするのはやめた武芸帳は必ず正面から堂いに行く」夕姫の背後から多三郎の決意の言葉が浴せられた。

数日の後　江戸へ向う街道を夕姫と龍造寺の一行廿五名が急いでいた。虚無僧姿の多三郎を見えかくれして後に随つて行く。とある山道にさしかかつたとき、一行の行く手に深編笠の柳生十兵エが待ち構えていた。一対二十五でも尋常に立ち向つては勝目のない相手、当惑した夕姫は武芸張を渡して談合しようと計つたが、突如、山の上から大岩が落ちて来て十兵エと龍造寺の一行を右と左に分つた。

山上では「逃げろ」と多三郎が絶叫している。多三郎の心には、何時の間にか夕姫に対して恋心が芽生え、今の役目を果したら忍者を止めて、天下一派の武芸者になろうと決心した。この心の動きが多三郎に、武芸帳を奪う使命の腕を鈍らせていた。一方の柳生屋敷には、幼君千代松君の御成りがあつた。腕白な千代松君は真剣勝負を所望して又十郎の相手を受けたが歯の立たぬことを知つて口惜しがり、床柱に仕掛けた空洞が破れて一巻の武芸帳が転り出た。



案内に当つていた友のりは素晴くそれを懐中に蔵つたが、やがて千代松君が帰つたあと、友のりめがけて懐剣が飛んできた。つと身を交す瞬間に、怪しい人影が庭の植木の蔭を突つ走る。その姿を見た於季は、物も云わずに裏の荒地に駆け出した枯れ草の中の古井戸から、そつと千四郎が上つてくる。「曲者」と力一パイ切りつける於季、その懐剣の下をくぐつた千四郎再び斬りかかろうとせぬ於季に忍者は人を恋することは出来ぬのだと云い捨てる。

武芸帳の一巻は夕姫の手に移り、一巻は柳生家に守られているが、今一巻は大久保彦左エ門の手に移つていた。薮大納言は武芸帳を奪おうと大久保屋敷に紛れこんでいた。しかし彦左の前で舞う夕姫は多三郎の眼には似ても似つかぬ女であつた。その女は父の命に従つて、くノ一の術を受け、女に化けた柳生又十郎であつた。但馬守も大久保屋敷に武芸帳があることを知り何とかしてそれを奪おうと計つたのだ。一曲を舞い終つた女装の又十郎は、次の間に下つて花籠車の軸を物色し、遂に武芸帳を発見した。

ところへ実の夕姫が到着した。大久保屋敷には上を下への混乱が湧き起る。多三郎は遊臣の一人が持つている筈の武芸帳を真正面からの力ずくで奪おうと刀を抜いたが夕姫に強く止められるとその家臣を斬ることができない。

千四郎は又十郎を追つて激しく斬り結んだ。一歩踏み出し、一歩退いたとたんに、又十郎の胸から武芸帳がこぼれ落ちた。あわてて拾おうとする二人の争いに、巻物は解けて左右の半分に破れ、一方は千四郎に、一方は又十郎の手に帰した。

肥前の浮月斉も武芸帳を追つて自ら江戸に出た。或日、門弟を集め、女に溺れて忍者としての本分を忘れた多三郎の破門を申し渡した。流石にうなだれた多三郎が立ち去つたあと、浮月斉は兄を斬ることを千四郎に命じた。默々と歩む多三郎その後を追つた千四郎はやがて兄を呼び止めた。兄弟は刀を抜き合つた、烈しい幾合かの斬結び、遂に千四郎は刀を落したが、多三郎は踏みこんで斬ろうとせず、逃げるように姿を消して行つた。柳生屋敷では、又十郎が煩悶をしていた。

正義のため、お家のためと死を賭して来た又十郎も、但馬守が武芸帳の秘密を一向に明さないのを見て、何が本当の正義か知ることが出来なくなつたのだ。又十郎は屋敷の中に幼い頃から共に育ち、夫婦の約束を交し合つたりかという恋人がいたが、思い悩んだあげく、追いすがりかを振り切つて住みなれた屋敷を家出した。

平市六丁目　電四八五

大野婦人学級で研修旅行会

四倉町大野婦人学級（五十名）では十七、十八の両日一泊二日で研修旅行を行う。コースはロマンスカーで午前五時四倉を出発―遠野町―石川―須賀川―郡山―会津―柳津一泊―裏磐梯―県庁―四倉着午後八時。の予定

今晩のラジオ

◆NHK（第一）

6:00　子供の時間
6:30　一寸お耳を
7:00　土曜の夜のおくりもの
9:00　ニュース解説

ラジオ日東

クリーニング工二名（常磐市）一六―二十住一三〇〇、自転車修理工二名（常磐市、富岡）一六―一八住一〇〇〇

三輪車運転手多数（平市）一八―二五住四〇〇〇通五〇〇〇―六〇〇〇、小型四輪車運転手一名（常磐市）二〇―二五住六〇〇〇、配達夫多数（平市、東京）一六―二〇通一〇〇住三〇〇〇

▽男子　建築技師見習一名（常磐市）一八―二十通五〇〇〇―六〇〇〇、建築士一名（勿来市）二五―四十通住五〇〇―一〇〇〇、謄写印刷見習一名（平市）一六―一八通一〇〇、店員多数（四倉、平）一六―二十通四〇〇〇住一五〇〇―二〇〇〇、製パン工三名（平、四倉）一八―二三住三〇〇〇―四〇〇〇、醸造工見習多数（平市、磐城市）一八―二三住二〇〇〇、印刷工見習五名（平市）一六―一八通八〇―九〇、製瓶工見習一名（四倉町）一六―一八通一〇〇、掘進夫多数（常磐市、茨城県）一八―五〇通住四〇〇以上、採炭夫多数（内郷、茨城県）一八―四五通住五〇〇、季節農夫多数（関東）一八―四〇住三三〇

求人便り（5月10日現在）

▽女子　店員多数（平市、四倉）一六―二十通三〇〇〇、住一五〇〇、縫製工多数（静岡県）一八―三十住三〇〇〇、織布工多数（愛知県）一六―二十住三五〇〇、縫製工多数（栃木県）一六―二十住三〇〇〇、仕立職見習一名（磐城市）一六―一八住五〇〇、塗製工一名（平市）一六―二十通二〇〇、小使一名（四倉町）一八―二十住四〇〇〇、季節農婦多数（関東地区）一八―四〇住二〇。

パンは開花亭

7:00　狙われた土曜日
8:15　残月謎道館
平　姫　十四日マデ
7:00　男の牙
8:15　女豹とならず者
民　劇　十四日マデ
7:00　群盗の宿
8:15　女狙撃兵
マリユートカ
ひかり座　十三日マデ
7:00　裏切りの街角
8:15　捨身の一撃
駅前劇場　十三日マデ
7:00　やさしく愛して
8:15　友情ある説得
世界館　十四日マデ
7:00　角兵衛獅子
8:15　隼人族の叛乱
東映劇場　十四日マデ
7:00　九十九里の子供達
8:15　東京だより
自転車旅行

今晩の映画

▼平文化ニュース　十五日マデ
ニュース
九十九里の子供達
東京だより
自転車旅行
▼東映劇場　十四日マデ
7:00　角兵衛獅子
8:15　隼人族の叛乱
▼世界館　十四日マデ
7:00　狙われた土曜日
8:15　残月謎道館
▼平　姫　十四日マデ
7:00　男の牙
8:15　女豹とならず者
▼民　劇　十四日マデ
7:00　群盗の宿
8:15　女狙撃兵
マリユートカ
▼ひかり座　十三日マデ
7:00　裏切りの街角
8:15　捨身の一撃
▼駅前劇場　十三日マデ
7:00　やさしく愛して
8:15　友情ある説得
7:00　浪曲
8:15　男の一生女の一生
10:15　落語
11:00　ラジオ喫煙室
11:30　夜のしらべ

ラジオ福島

7:00　トニーの童話
8:15　今週の話題
9:00　永遠に答えず
9:15　音楽の小箱
9:30　花春アワー
9:45　ワンダフルお嬢さん
10:00　歌のトリスバー
10:15　今週の歌謡ベストテン
10:30　福助歌の立体劇場
11:00　浪曲歌合戦
11:15　名作アルバム
11:30　右門捕物帳
12:00　夜の調べ
12:15　時事解説
12:30　ラジオ演芸欄

5月12日　ナイチンゲールの日

社団法人 平医師会附属福島県公認
平准看護婦學校
校長 鈴木正男
平市閼町 電三〇七・二三〇五

労災保険指定医院
内科 外科
諸橋医院
諸橋鉄彌
平市下川原四 電一〇八三

明雲堂眼科医院
新妻幸男
平市田町 電六六九

内科 小児科 外科 産婦人科 放射線 理学 治療 形外 皮膚泌尿器科
松尾病院
院長 松尾正平
平市大町九 電一五四・二三四七
月見町分院
平市月見町 電二二八

労働大臣認可
看護婦 家政婦
平 幹旋所
清野キヨ
平市南町 電三〇七

財団法人 石城精神医学研究所
附属
新田目病院
院長 新田目五郎
本院 平市才槌小路二四 電一五・二三八五
分院 平市上荒川安達三 電二二五六